

インターネット・バードソン

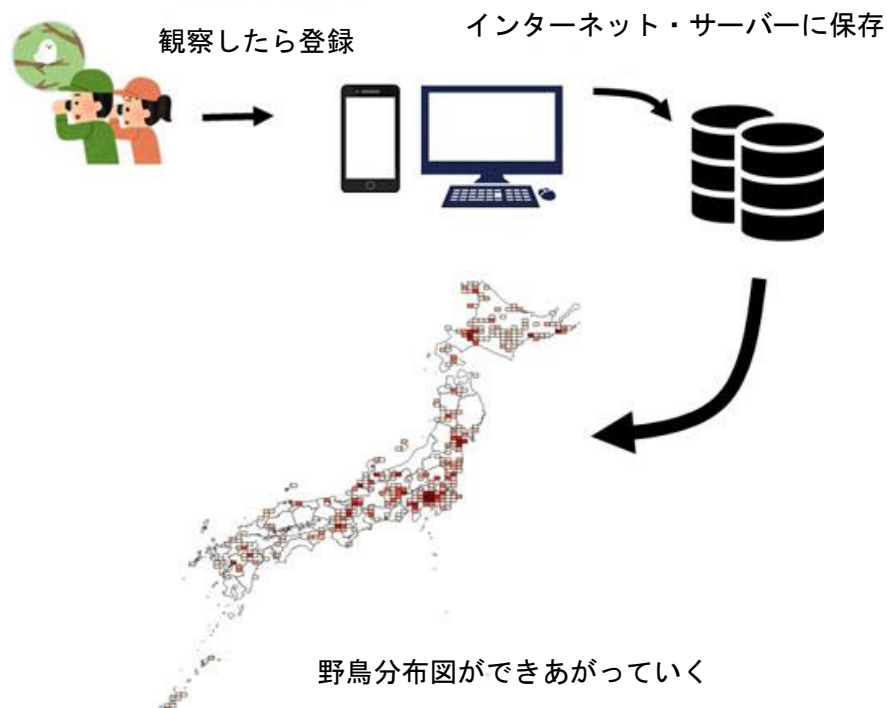
バードウォッチングするだけで野鳥調査に参加できる仕組み作り

NPO 法人バードリサーチ

バードウォッチャーが観察し、手帳などに付けている野鳥の記録は、ひとつひとつは小さなものでも、集まれば全国的な自然環境の変化を知り、絶滅などの危機を未然に防ぐ上で貴重なデータになります。そこで、バードリサーチの野鳥記録 Web サイト「フィールドノート」を利用して、バードウォッチングで観察した野鳥の種数を全国の鳥仲間と競争するイベント「インターネット・バードソン」を開催し、楽しみながら野鳥記録を電子化してもらえる仕組みを広めます。

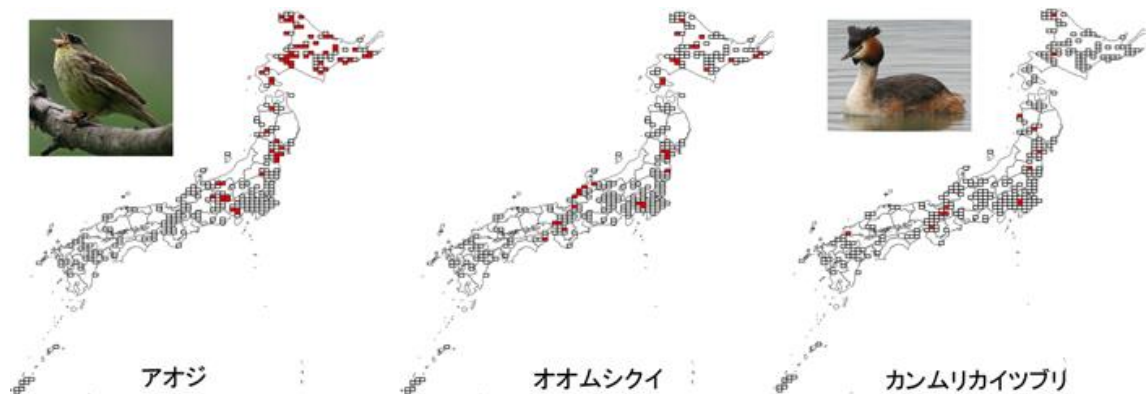
インターネット・バードソンの活動と目的

- 春・冬のバードソンで、楽しみながら野鳥記録を Web データベースに登録する習慣を普及する。
- イベント直後の結果速報として、参加者の記録を使って繁殖・越冬分布図を作成し、公開する。
- 長期的に蓄積されていくデータを使って、各地の野鳥の増減について分析を行う。



第1回インターネット・バードソンの成果

- 2019年6月1～16日に開催。
- 153名が1054カ所で1,367回の観察記録を登録。249種の野鳥が観察された。



バードソンの記録で作成した6月上旬の野鳥分布図

第2～3回インターネット・バードソンの予定

- 第2回大会を2020年1月上旬、第3回大会を5月上旬に予定しています。



第2回（2020年1月）大会の広報用イラスト

今後の展開

- 各地の自然観察施設などに協力してもらって、インターネット・バードソンの普及や、地域の調査員育成につながるイベント・講座などを開催する。
- インターネット・バードソンで「フィールドノート」を利用してくれた人たちに、年間を通して野鳥記録の登録を続けてもらえるような呼びかけや、システムの改善を続ける。

支援金は、インターネット・バードソンの広報や、「フィールドノート」の改良に使用させていただきます。